



子供たちに伝えたい美しい日本語

石井式 育み文庫

絵／加藤妙子

鉢かつぎ姫



昔、とてもかわいい姫がいました。

幸せに暮らしていましたが、十三になったときのことです。

お母さんが重い病気にかかってしまいました。



お母さん



鉢

「ここへおいで。」

お母さんは姫を呼び、

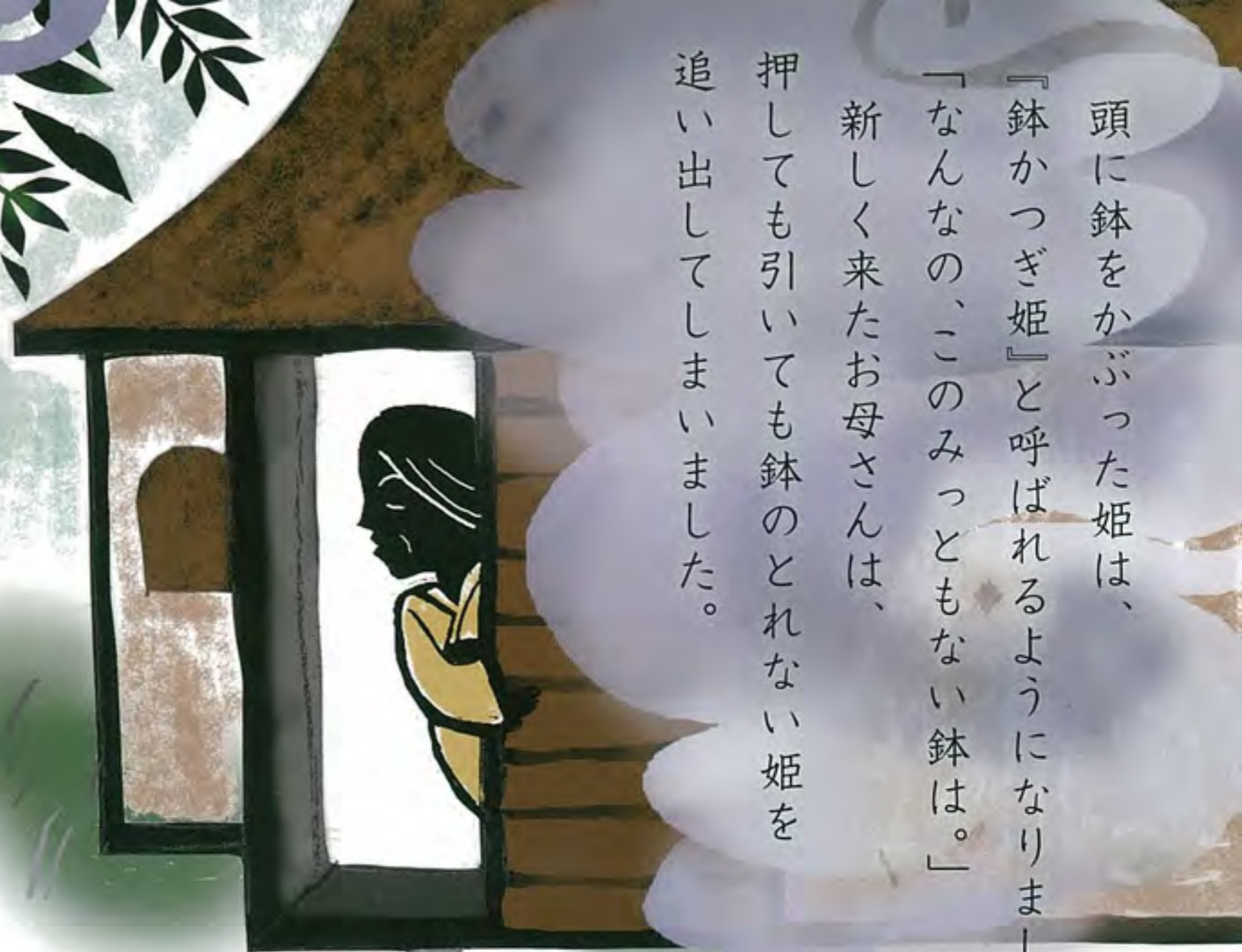
大きな鉢をかぶせて祈りました。

「どうぞこの子をお守りください。」

そして間もなく、お母さんは亡くなってしまいました。



頭に鉢をかぶった姫は、
『鉢かつぎ姫』と呼ばれるようになりました。
「なんなの、このみっともない鉢は。」
新しく来たお母さんは、
押しても引いても鉢のとれない姫を
追い出してしまいました。



鉢かつぎ姫はたった一人、あてもなく歩いていきました。

「なんだ、あれは？」

「鉢のお化けじゃ、化け物じゃ。」

通りすがりの人たちは、鉢かつぎ姫を見て笑いました。

